

# 平成30年産稲作ごよみ



# 産地として選ばれるなのはな米

## 1等比率95%以上を達成しよう!!

なのはな農業協同組合  
なのはな農協地区農業技術者協議会

葉色カラースケール

おいしいお米  
なのはなブランド  
「八町米」

「安全・安心」な米づくり

- 出荷米の生産履歴記載率100%
- 適正農業規範に基づくGAPの実践

| 月日  | 10月 ~ 3月 | 4月 | 5月            | 6月  | 7月    | 8月             | 9月      |
|-----|----------|----|---------------|-----|-------|----------------|---------|
| 水管理 |          | 深水 | 浅水 (チラ干しにしない) | 中干し | 間断かん水 | 飽水管理 (水を切らさない) | 落水は急がない |

### おんぷシステムカーンの栽培管理ポイント

#### 土づくり

- 1 有機物の施用**
  - 牛・豚ふん堆肥 …1~2t/10a
  - 発酵けいふん …100~150kg/10a
  - 稲わらは全量すき込む
  - 地力増強作物 (ハアリーベッチ、レンゲ)のすき込み
- 2 土壌改良資材の施用**
  - 珪酸石灰 …200kg/10a
  - シンキョーライトP …60kg/10a
  - シリカロマン …100kg/10a
- 3 深耕し**
  - 秋耕しと春耕しの2回掛けが効果的

#### 丈夫な苗をつくる

- 種子消毒を必ず行う
- モミガードC水和剤で
- 健康的な育苗作業を
- 計画的な育苗作業を
- 健苗育成のための

#### 太い分けつを早くとる

- 換気の徹底
- 撤出直後から換気し、ハウス内の温度は昼間は25℃以下で管理する。
- 育苗日数は播種から20日間を目安として老成苗にならないようにする
- かん水の調整で丈夫な苗にする
- ハウス内の排水を徹底する
- 一箱当たり120gのうすまきでガッチリ苗にする

#### 根を十分に張らす

- 中干し効果の向上 入水・排水の効率化をはかる
- 中干し前に必ず溝を掘る!
- 徹底する
- 田植後1ヵ月頃を目安として中干しを
- 田面に亀裂が入るほど中干しし、地耐力を高める

#### 倒伏させずに、登熟を高める

- 質の良い分けつを早くとる
- 活着後、浅水管理 (水深3cm) で
- 除草剤は適期・適量を確認して散布する
- 植付本数は3~4本で3cmの浅植にする
- 栽植密度は70株植を確保する!
- 田植後は5月15日を中心に!
- 基肥は標準量を守る

#### おいしく仕上げる

- 1.9mmの網目を使用し、細粒や屑米の混入を防止し良質米の出荷に努める
- 胴割れ発生防止のため、毎時乾減率0.8%以下での乾燥に努める
- 適正な乾燥で水分「14.5~15.0%」に仕上げよう
- 高温年は、初黄化率80%から刈取る
- 初黄化率85~90%頃に刈取る

#### 除草剤の効果を高める7つのポイント

1. 代かきはいねいに行い圃場の均平に努める。
2. 代かき後に気温が高いと、雑草の発生・生育が早まるので遅れずに散布する。
3. 代かきから田植までの期間を長くしないようにする。
4. 湛水状態を散布する場合は、水の出入りを止め5cm程度の湛水深を保ち散布する。
5. 除草剤散布後は、4~5日間程度湛水状態を保つ。
6. 散布後7日間は「落水」や「かけ流し」をしない「止水管理」とし、水田外への流出を防ぐ。
7. 田植え同時散布機 (こまきちゃん、イノベーター等) を使用する場合は、薬剤によって粒径や比重が異なり散布量が変わるので散布機の散布量調整を必ず行い、適量を散布する。

#### 温度管理の目安

| 生育期  | 緑化期   | 硬化期   |
|------|-------|-------|
| 項目   | 2~3   | 15~17 |
| 育苗日数 | 25℃以下 | 10℃以上 |
| 温度   | 昼     | 夜     |

#### 比重選から田植までのスケジュール

|             |        |
|-------------|--------|
| 比重選・水洗・種子消毒 | 4月14日頃 |
| 乾燥          | 4月15日頃 |
| 浸種          | 4月16日頃 |
| 播種          | 4月25日頃 |
| 田植          | 5月15日  |

#### 飽水管理の目安

#### 分施体系の場合

- 二回目の穂肥は一回目穂肥を施用した一週間後を目安に
- 葉色と幼穂長15ミリを確認し適期に適量を施用する
- 一回目の穂肥は慎重に
- 分施は穂肥時期までに葉色を3.6に誘導

#### 出穂後20日間湛水管理

- カドミウムの吸収抑制
- 稲体の活力維持
- 傾穂期防除 (カメムシ類)
- 穂揃期防除 (穂いもち、ウンカ、ヨコバイ、カメムシ類)
- 出穂直前の葉色が淡い場合は追加穂肥を施用する

#### 傾穂期防除 (カメムシ類)

- アカヒゲホソドリカスミカメ
- トゲシラホシカメムシ
- アカスジカスミカメ
- 斑点米

## 土壌にあった施肥でおいしい米づくり

### 本田施肥設計例 (10a当たり)

| 品種名   | 土質  | 基肥         |        | 中間追肥 (6月下旬) |          |  |      | 備考 |
|-------|-----|------------|--------|-------------|----------|--|------|----|
|       |     | 側条施肥       | 基肥一発肥料 | 設計I         | 設計II     | 設計I  | 設計II |    |
| コシヒカリ | 砂質田 | なのはな一発基肥1号 | 40 kg  | 20 kg       | 20~40 kg | ● 基肥一発肥料は田植時期や土壌によって施肥量を減減しましょう。<br>● 基肥一発肥料を使用した場合でも高温年で葉色が淡い場合は、追加穂肥を施用しましょう。<br>● リン酸及び加里成分が不足がちになりますので、必ずエスアイ加里特号またはB B P Kケイ酸を施用するようにしましょう。 |      |    |
|       | 壤質田 | なのはな一発基肥2号 | 35 kg  | 20 kg       | 20~40 kg |  |      |    |
|       | 粘質田 | なのはな一発基肥2号 | 30 kg  | 20 kg       | 20~40 kg |  |      |    |
| てんかぐ  | 砂質田 | LPS 早生専用   | 45 kg  | 20 kg       | 20~40 kg |  |      |    |
|       | 壤質田 | LPS 早生専用   | 40 kg  | 20 kg       | 20~40 kg |  |      |    |
|       | 粘質田 | LPS 早生専用   | 35 kg  | 20 kg       | 20~40 kg |  |      |    |
| てんもり  | 砂質田 | LPSS 晩生専用  | 50 kg  | 20 kg       | 20~40 kg |  |      |    |
|       | 壤質田 | LPSS 晩生専用  | 45 kg  | 20 kg       | 20~40 kg |  |      |    |
|       | 粘質田 | LPSS 晩生専用  | 40 kg  | 20 kg       | 20~40 kg |  |      |    |

  

### ●分施体系の場合

| 品種名  | 土質  | 基肥・早期追肥 |       | 中間追肥 (6月下旬) |       |          |          | 穂肥    |         |         |
|------|-----|---------|-------|-------------|-------|----------|----------|-------|---------|---------|
|      |     | 設計I     | 設計II  | 設計I         | 設計II  | 設計I      | 設計II     | 追肥3号  | 出穂前     |         |
| 新大正備 | 砂質田 | 35 kg   | 30 kg | 10 kg       | 10 kg | 10~20 kg | 10~20 kg | -     | 10 kg以内 | 12 kg以内 |
|      | 壤質田 | 30 kg   | 25 kg | 10 kg       | 10 kg | 10~20 kg | 10~20 kg | -     | 10 kg以内 | 12 kg以内 |
|      | 粘質田 | 25 kg   | 20 kg | 10 kg       | 10 kg | 10~20 kg | 10~20 kg | -     | 10 kg以内 | 12 kg以内 |
| てんかぐ | 砂質田 | 45 kg   | 40 kg | 10 kg       | 10 kg | 10~20 kg | 10~20 kg | 10 kg | 13 kg   | -       |
|      | 壤質田 | 40 kg   | 35 kg | 10 kg       | 10 kg | 10~20 kg | 10~20 kg | 10 kg | 12 kg   | -       |
|      | 粘質田 | 35 kg   | 30 kg | 10 kg       | 10 kg | 10~20 kg | 10~20 kg | 10 kg | 12 kg   | -       |

\*大豆跡田は、基肥量をN成分で5~7割減らしたり、倒伏に強い品種の作付に努めましょう。又、土壌改良資材を必ず施用しましょう。

## 適正な農薬使用で安心な米づくり

### 水稲除草体系

※下記の図は、あくまでも使用時期を示すもので残効期間を示すものではありません。

体系処理

- エバーゴルフワイド箱粒剤
  - ・いもち病
  - ・紋枯病
  - ・白葉枯病
  - ・イネドロオイムシ
  - ・イネミズゾウムシ
  - ・ニカメイチュウ
- ビームキラップジョーカー粉剤DL (収穫14日前まで)
- キンゾアール
- トレボンスター粉剤DL (収穫7日前まで)
- カメムシ類

一般水稲基本防除体系

一般的な使用例

一発処理

農薬の適正使用について ~ 農薬は使用基準を守り、正しく使いましょう! ~

- 農薬の使用前に、ラベルを見て作物に登録のあることを確認し、農薬の使用基準を必ず守って使用して下さい。
- 散布時期、散布量及び散布回数などの使用方法を遵守し、農薬の残留基準値を超えないよう適正に使用する。
- 散布は周囲への飛散を防ぎ、適用作物以外の作物にからないように、風向きや風速に注意しましょう。

## なのはな米の仕上げはカントリーで!

### 雑草が残った場合

広葉雑草が残ったら

バサグラン粒剤  
田植後15~50日まで (但し、収穫60日前まで)  
落水状態で散布し3~4日間は入水と落水をしない

ノビエが残ったら

クリンチャー1キロ粒剤  
田植後7日~ノビエ4.0葉期まで (但し、収穫30日前まで)  
湛水状態で散布し、5日間は湛水状態を保つ

ヒエクリーン豆つぶ250  
田植後15日~ノビエ3.5葉期まで (但し、収穫45日前まで)  
水深5cm以上の深水状態で散布し、5日間は湛水状態を保つ

ノビエと広葉が残ったら

ワイドアタックD1キロ粒剤  
田植後25日~ノビエ5.0葉期まで (但し、収穫60日前まで)  
湛水状態で散布し、5日間は湛水状態を保つ

クリンチャーバSME液剤  
田植後15日~ノビエ5.0葉期まで (但し、収穫50日前まで)  
落水状態で雑草の茎葉に薬剤が付着するように散布し、3~4日間は入水と落水をしない

### JA米生産基準

1. 種子更新100%
2. 農産物検査の受検
3. 生産基準にもとづく生産履歴記載

上記3つの要件を満たしたお米をJA米として取扱います。

なのはな農協では電子メールによる営農情報の提供を行っています。(登録は無料です)

営農情報提供サービスへのご登録はこちら

http://argo-navi.net/ja/mb\_login.php

情報提供内容

- 栽培管理情報
- 緊急的な気象情報と災害防止対策
- 緊急的な管理情報
- その他必要と思われる情報

\*上記以外の資材の使用や、緊急な技術対策が必要な場合は、事前に営農指導員又は関係機関にご相談下さい。